

市東さんの農地強奪強制執行を許すな！

## 7・17 千葉地裁へ



裁判に先立ち千葉地裁に向けてデモ行進 (6月28日)



天神峰・榎の木まつりが大成功 (7月8日=3面に記事)

6月28日、千葉地裁民事第5部・高瀬順久裁判長のもとで反対同盟の市東孝雄さんの農地明け渡し強制執行を阻む請求異議裁判が開かれ、全国から175人が集まりました。

萩原富夫さんの証人尋問と市東さん本人尋問が行われ、怒りの証言が成田空港会社と裁判所を圧倒しました (詳細2面)。

その後の進行協議で早期結審を許さず、もう一開廷を入れさせることに成功しました。次回7月17日は、石原健二さん (農業経済学者・農学博士)、内藤光博さん (専修大学法学部教授) が補佐人として意見を述べ、弁護団が最終弁論の概要を展開します。

当日は正午より千葉市中央公園から千葉地裁を包囲するデモ行進を予定しています。裁判傍聴とデモ行進にぜひご参加下さい。

## 請求異議裁判 & 千葉市内デモ

● 7月17日 (火)

正午 千葉市中央公園集合 集会・デモ

午後2時開廷 601号法廷

# 市東さんの農地取り上げ強制執行を認めるな

6月28日、請求異議裁判での市東孝雄さんと萩原富夫さんの証言です（要旨）

## 農地は農民の命

3代100年近く耕作を続けています。NAA（成田空港会社）が明け渡しを求めている土地は、私が耕作する農地面積の73%です。

お金を積みあげて行くというのは、農民を愚弄（ぐろう）する考えです。

土壌は生き物です。有機農業、産直運動で一番肝心なのは消費者にうそをつかないことです。露地栽培を基本に、化学肥料・農薬は一切使わず、旬の野菜を届け、400軒の会員家族の健康・安全に責任をもちます。これこそ自分の生きる道、日本の農業の進むべき道だと思えます。農地を取られるということは農民としての自分の命を取られることと同じです。

NAAは私のことを「騒音を承知で帰ってきた」などと言いますが、B滑走路ができたのは私が帰ったあとです。親が亡くなり、帰ってきて100年耕してきた農地を継ぐことの方が悪いのか！

NAAは自分で「強制手段をとらない」と公約しておいて、強制執行するのは権利濫用です。絶対に認められません。それを許可するのは裁判所の自殺行為です。裁判所が正義を実現されるよう強く要請します。



市東孝雄さん

## 飛行機を止めろ

市東さんの農地を守る姿に心打たれ共に闘っています。

市東さんとともに「三里塚産直の会」として有機農業の産直運動に取り組んできました。



萩原富夫さん

市東さんが農地を取られたら、産直も続かなくなります。NAAは市東さんを追い出し、見せしめにするしか考えていない。一企業のために農業が犠牲になるなど、あってはならない。

東峰部落では、NAAのやり方に全員が怒っています。2002年に2180坪のB暫定滑走路の供用を開始し、人が住んでいる頭上40坪にジェット機を飛ばしました。

現にそこに人間が住んでいるのに、飛行機を飛ばすことで出て行くと思っている。ふざけるんじゃない。まず飛行機を止めろ！ 空港公団=NAAは小作者である市東さんに無断で底地を買収し、解約許可を申請した。こんなデタラメも成田だから許されるのか。

これを認めるというなら、裁判所が泥棒に味方するという事です。上の意向ばかり気にするヒラメ裁判官になりたいですか。市東さんの農地取り上げは怒りの火に油を注ぐことになるだろう。裁判所はそのことを肝に銘じてほしい。



# 第2回 天神峰 檜の木まつりが大盛況!

7月8日、第2回天神峰・檜の木まつりを開催しました。市東さんの農地を守る裁判闘争が大詰めを迎える中で、近隣住民はじめ全国から170人が集まる大盛況となりました。

かき氷やスイカ、肉じゃが、サラダ、漬物、焼きそばなど参加者が持ち寄った料理を食べながら、次々と仲間たちが農地を守る決意をアピールし、団結を深めました。

ミニライブ（写真右上）、景品交換（写真右下）



## 陸自木更津オスプレイ 暫定配備反対



7月1日、陸上自衛隊木更津駐屯地への垂直離着陸機オスプレイ暫定配備に反対する集会が開かれ、2200人が参加しました。

防衛省は、2021年度までに17機のオスプレイを導入するとし、米軍のオスプレイ整備拠点となっている木更津駐屯地への配備を検討しています。

改憲・戦争に向けて突き進む安倍政権を倒しましょう。

# 地域住民の声

今回は芝山町の住民から。お金で空港拡張と騒音を認めさせようとする石井新二らへの怒りの声と開港当初の約束すら守らないNAAへの怒りの声が寄せられました。

## ◆住民の怒りを逆手に 空港拡張を推進する 石井新二らは許せない。

### 芝山町 無職（男性）

石井新二氏の空港機能強化策を認めた上での金よこせ運動は本当に腹がたつ。

そもそも石井氏は長谷川光政氏（元椎の木村村長）と一緒に芝山町議会で第3滑走路の必要性を相川勝重芝山町長よりも先に口にしていた。

相川町長も、6月9日の「空港と被害地域の真の共存共栄を目指す集い」で来賓としてあいさつただけでなく、騒音の問題についての説明を行っていた。石

井氏と相川町長は同じ穴のむじなだ。

住民の怒りを逆にとった空港機能強化推進運動は絶対に許せない。

## ◆深夜早朝便の延長に賛成する人間はいない 開港当初の約束を守れ！

### 芝山町 会社員（男性）

一度お金で騒音を許すことを認めたら、24時間化も時間の問題だ。

飛行回数が50万回になれば、朝から晩まで1分40秒に一機の割合で飛行機が飛ぶことになる。そんな芝山町に誰が好き好んで住むというのか。子どもたちの将来のことを考えれば反対しかないではないか。

成田空港開港当初住民に約束した朝7時から夜10時までが最低ラインだ。

厚木基地の爆音訴訟では、家族団らんを大切にするために夜8時から朝8時までの飛行禁止を求めている。

住民説明会でも深夜早朝便の延長に賛成した人間は誰もいなかった。

今こそ、お金の問題じゃないことをハッキリと言うべきだ。

## 8・26天神峰カフェにご参加を



8月26日正午から、成田市天神峰の市東孝雄さん宅・離れで天神峰カフェを開催します。現地でとれた新鮮な野菜の手料理を囲みながらの意見交換、市東さんの家の周りや第3滑走路予定敷地のフィールドワーク（現地調査）を予定しています。誰でも参加できます。ぜひお気軽にお越しください。